

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈小・国語〉

特別研修員 国語 黒岩 佐登美（小学校教諭）

単元名 話し合って意見をまとめよう「つたえよう、楽しい学校生活」（第3学年） 全11時間計画
単元のねらい

班で話し合いながら互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめることができるようにする。

単元構想の意図

本単元では、児童が主体的に話し合いながら意見をまとめることができる力を身に付けることを目的としています。つかむ過程では、児童が「やってみたい」「自分にもできそうだ」という意識を生むような導入を行うことで、単元全体の見通しと意欲がもてるようにします。追究する過程では、誰でも同じように司会・進行ができるよう、教師や教材の見本を基に司会の方法や技能を習得させ、主体的に話し合いが行えるようにします。まとめる過程では、学習成果の可視化を行うことで、単元を通して学んだことを自覚させるとともに、他単元でも実践してみたいという意欲付けができるよう構成しました。

過程

主な学習活動

1. 単元の課題を把握する

- 学校行事の写真や他校の学校紹介動画を見る。
- 単元の課題を決める。

友達と話し合いながら、地域の人に私たちの学校の楽しさが伝わるようなDVDを作ろう。

めあてをつかむ導入の工夫

児童の「どんなことをするんだろう」「楽しみだな」といった学習への動機付けになるように、実物や写真・映像などを示す。

魅力的な言語活動の設定

児童が「やってみたい」と思い、主体的に活動できるよう、単元を通して身に付けさせたい資質や能力を意識しながら児童から意見を出させ、言語活動を決定する。

つかむ(1)

2. 課題を追究する

- 教師が司会を行いながらクラス全体で話し合い、担当する班を決める。
- 教科書の話合いCDを聞き、上手な話し合いの仕方についてまとめる。
- 意見の相違を考えながら発表の構成について班で話し合う。

これさえあればばっちり☆司会者の流れ☆

今日は、○○(自分の名前)が司会をします。よろしくお願ひします。

- 1 今回話し合うテーマを伝える。
・今日話し合うテーマは○○です。
・最初に○○を決めて、次に○○について話し合います。
- 2 話し始める人を決めて、意見を言ってもらおう。
・絶対に意見がある人は手を挙げてください。
・○○さんお願いします。
・○○さんから順番に意見を言ってもらってください。
・ありがとうございました。次に○○さんお願いします。
- 3 意見を一言ずつのる。
・書き出した意見が班の代表、整理します。
・○○という意見が多いですね。
・○○がいいという意見がありますね。 など
- 4 意見をまとめる・決める。
・○○という意見についてどう思いますか。
・○○という意見が強いですが、
- 5 決まったことを全体でかくにんする。
・今日の話し合いで決まったことは、○○ということです。
・これで話し合いを終わりにします。

【司会カード】

ワークシート例

1. 話し合いのテーマを伝える
2. 話し始める人を決めて、意見を言ってもらおう
3. 意見を一言ずつのる
4. 意見をまとめる・決める
5. 決まったことを全体でかくにんする

【ワークシート例】



【ホワイトボードで意見の集約】



【タブレットで撮影】

- 各班の構成を基に、動画をタブレット端末で撮影する。
- 抑揚や表情での伝わり方について考え、班で練習し助言し合う。
- 本番撮影

身に付けさせたい資質・能力の具体化

話し合いの見本となるよう、押さえてほしい言葉や方法を意識しながら教師が司会のモデルを示すことで、「自分にもできそうだ」という見通しをもたせる。大まかな流れを決めた司会カードを用意することで、誰もが司会ができるようにする。
また、教材のCDを聞きながら司会の方法や参加者の意見の伝え方をまとめることで、児童が主体的に司会を行うための共通理解を図る。

対話的な活動の工夫

意見を比較して聞くために、話し合いを行う前には必ず自分の考えをもたせる時間を確保してから臨ませる。
また、友人の意見を聞いて自分とは「同じ」「違う」といった意見の相違を伝え、話し合いの観点をもたせる。互いの立場を明確にさせながら話し合わせることで、話し合いの内容が深まるようにする。
班での話し合い活動では、意見を自由にまとめられるようにホワイトボードを用意する。互いの意見を可視化させることで、児童同士で意見を付け足したり、意見の順番を入れ替えたりしながら、話し合った結果をまとめることができるようにする。

追究する(9)

練習の場の設定

発表を客観的に見るために、実際にタブレット端末で撮影した動画を見直したり互いに見合ったりしながら、よさや改善点に気付けるようにする。

3. 単元を振り返る

- できるようになったことをまとめる。
- クラスで共有する。

学習を通して出来るようになったこと

司会が出来るようになった
司会が出来るようになった
司会が出来るようになった
話し合いが上手になった
話し合いが上手になった
話し合いが上手になった

相手の話をよく聞いた
司会が出来るようになった
自分から発表し始めた
友達の事を知ることが出来た
話し合いのしるべを知ることが出来た
自分が話し合いのしるべを知ることが出来た

【付箋の仲間分け】

学んだことの自覚

児童が様々な学習成果に気付くことができるよう、班で付箋を仲間分けし、成果を可視化させる。
蓄積してきた振り返りを活用し、学習を通して身に付けてきた話し合いの仕方や意見のまとめ方を、日常のほかの場面でも活用できることを再確認し、次の学びの意欲につなげる。

まとめる(1)

指導例：『つたえよう、楽しい学校生活』（第3学年第6時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○本時の活動について学習計画表で知る。

めあて 友人との意見の相違を考えながら、発表の構成を話し合っ
て決めよう。

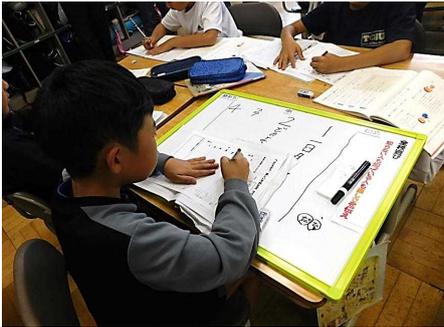
学習計画の活用

○学習計画表や前時のノート・ワー
クシートを見直させ、学習のつな
がりを意識できるようにする。

2 課題を追究するために個・各班で考える。

○発表の順番とその理由を個で考える。

○発表の順番を班で話し合う。



【各班で意見を出し合いまとめる】

**これさえあればばっちり
☆司会者の流れ☆**

今日は、〇〇（自分の名前）が司会をします。
よろしくをお願いします。

- 1 今回話し合うテーマを伝える。**
 - ・今日話し合うテーマは〇〇です。
 - ・最初に〇〇を決めて、次に〇〇について話し合います。
- 2 話し始める人を決めて、意見を言ってもらおう。**
 - ・始めに意見がある人は手をあげてください。
 - ・〇〇さんお願いします。
 - ・（〇〇さんから順番に意見を言ってください。）
 - ・ありがとうございました。次に〇〇さんお願いします。
- 3 意見を一度まとめる**
 - ・皆さんからの意見が出たので一度、整理します。
 - ・〇〇という意見が多いですね。
 - ・〇〇がいいという意見がありますね。 など
- 4 意見をまとめる・決める。**
 - ・〇〇という考えについてどう思いますか。
 - ・〇〇という意見が良いですか。
- 5 決まったことを全体でかくにんする。**
 - ・今日の話し合いで決まったことは、〇〇ということです。
 - ・これで話し合いを終わりにします。

対話的な話し合いの工夫

○進行カードを用意し、児童が自信
をもって取り組めるようにする。

○ホワイトボードで意見を可視化さ
せることで、児童同士で意見を付
け足したり、意見の順番を入れか
えたりしながら、話し合った結果
をまとめることができるようにす
る。

○「同じ」「違う」「どうして」
などの言葉を使い、意見の相違
を考えながら話し合わせること
で、話し合いの内容が深まるよう
にする。

○自分の意見と友人の意見を比較し
ながら聞くために、必ず自分の考
えをもたせる時間を確保してから
臨ませる。また、ワークシートに
話し合い後の意見の変化を記入させ
評価をする際、参考にならざる
ようにする。

S：学校の人が面白いと感じている順番で発表すればよいと思う。
S：ぼくは、それとは意見が違って、順番は季節通りにするのがよいと
思う。
S：どうしてそう思うの。
S：季節どおりの方が小学校でやっている順番も分かるし、地域の人に
も分かりやすいと思うから。
S：確かにそうだね。意見に賛成です。発表は季節どおりにしよう。

3 グループや学級で、課題を追究するための方法を共有し、焦点化を図る。

○数班指名し、話し合いでの変化を発表する。

S：ぼくたちの班では、順番どおりに発表することになった。

S：どうしてその順番にしたの。

S：初めは、おもしろい行事から発表するように考えたけど、聞いている人に分かりやすいように順番どおりに行事を紹介しようということに話し合っ
て決まった。

S：確かにそう思う。知らない人は順番どおりに聞いた方が分かりや
すいと思う。



【話し合いの様子を発表】

互いのよさに気付かせる
共有の場の設定

○なぜそのような話し合いになったの
か質問させることで、自分の班で
は気付くことができなかったこと
や内容に気付くことができるよう
にする。

4 本時のまとめ・振り返りをする。

○学習を振り返り、意欲が次時にも継続できるようにする。

☆：相手の話をよく聞いた。

賛成反対などの言葉が言えた。

☆：初めは意見が違ってどうやってま
とめていけばよいか分からなかつ
たけど、話し合いながらまとめら
れたからよかった。

☆：私は、3番目に発表するから、〇〇
さんがどんな原稿にするか確認した方がよいなと思った。



【振り返りカードに記入】

めあてに沿った振り返り

○めあてを再度意識させ、本時の振
り返りを書かせる。全体で押さ
えたい振り返りについては、ク
ラス全員の成果として共通理解
させる。

指導のポイント

指導例：『つたえよう、楽しい学校生活』（第3学年第11時）

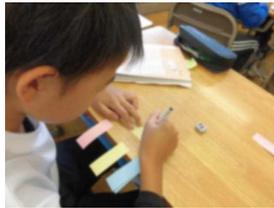
1 本時のめあてをつかむ。

○既習事項を振り返り、学習してきたことを確認する。

めあて できるようになったことやよかったところを考え、もっとしてみたいことについて話し合おう。

2 単元で学んだことを確認する。

○色分けした付箋に、「できるようになったこと」「よかったこと」「もっとしてみたいこと」を書く。
○短い言葉で端的にまとめる。



【付箋に個人の考えをまとめる時間をとる】

3 学んだことを一般化して理解する。

○班になり司会を中心に意見を伝え合う。
○同じような意見を枠で囲い、題名を書くなどしてまとめる。

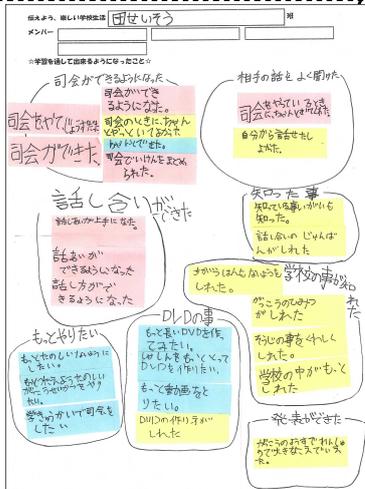


【各班で付箋紙を仲間分けする】

T：ここの付箋は何の意見でまとめたの？
S：話し合いという意見。「話し合いのこと」という枠にしよう。
T：ほかにはどんな意見が多かった？
S：「司会ができた」という意見が多い。
T：この班は、話し合いを通して司会ができるようになった子が多いということだね。

4 まとめた意見をクラスで共有する。

○数班黒板で発表させ、できるようになったことをクラスで共有する。
S：司会ができるようになったという意見が多い。
S：また話し合いをしてみたい、タブレットを使ってまたDVDを作りたいという意見も多い。
T：話し合いの進め方が分かり、司会をすることができるようになったね。もっとやってみようという意欲も生まれたね。



5 単元全体の振り返りをする。

○単元や本時の活動を通して考えたことを振り返りカードにまとめる。
☆：司会をすることができるようになった。今度また、学校のことを紹介するような活動をしてみたい。

既習事項の活用

○学習を通して積み重ねてきた成長に気付けるよう、学習を通して使用してきたノートやワークシートを振り返らせる。

成果を実感させるための意見の分類・まとめ・共有

○班活動をする前には個人で考えをまとめる時間を作る。今回は付箋に分類しながら書かせることで、児童自身が学びをまとめながら考えることができるようにする。
○予想される意見枠を教師が先に記入しておくことで、主体的に意見集約ができるようにしておく。
○机間指導をしながら、個々の成果に気付くことができるような声掛けをする。

学びを自覚するための手立て

○班で出てきた意見を全体で共有し、成果を可視化することでクラス全体の成長として児童に認識させ、身に付けることができた力を実感させるようにする。

実践意欲につなげる振り返りの活用

○蓄積してきた振り返りカードを活用し、学習を通して身に付けた学びを振り返るとともに、「もっとやってみよう」という児童の意見を取り上げ、具体的な場面を想像させることで、身に付けた力を活用してみたいという意欲につなげるようにする。

国語科学習指導案

平成30年9月～10月 第3学年 指導者 黒岩 佐登美

I 単元名 話し合って意見をまとめよう「つたえよう、楽しい学校生活」

II 学習指導要領上の位置付け

- | |
|--|
| (1) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。
【知識及び技能 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項イ】 |
| (2) 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめること。
【思考力、判断力、表現力等 A話すこと・聞くことオ】 |
| (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 |

III 目 標

班で話し合いながら学校の紹介DVDを作る活動を通して、次の指導事項が身に付けられるようにする。

- | |
|---|
| (1) 言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して発表することができる。
【知識及び技能 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項イ】 |
| (2) 班で話し合いながら互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめることができる。
【思考力、判断力、表現力等 A話すこと・聞くことオ】 |
| (3) 主体的に話し合いに参加し、思いや考えを伝え合おうとしている。
【学びに向かう力、人間性等】 |

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（1/11）

1 ねらい クラスで話し合う活動を通して、学校生活の楽しさを伝える DVD を作る見通しをもてるようにする。

2 展開

学習活動（分） ○：留意点 点線囲：評価 ☆：振り返りの子供の意識

1 教材文やモデル等と出会い、単元の課題を設定する。（30分）

- 学校行事や学校生活の写真を提示し、楽しかったことを具体的に振り返らせる。
- 他校の学校紹介の動画を見せ、完成形のイメージをもたせたり、意欲を高めさせたりする。
- 他校の学校紹介がどのような内容だったかを簡単にまとめ、感想を伝え合わせる。
- 教師が司会を行いながら、話し合いで学習課題を決めさせる。
- 児童の見本となるよう、話し合いで押さえない言葉や方法などを意識して進めるようにする。
- 多数決で決めることなく、全体の話をまとめながら意見を集約していくようにする。

単元の課題 友達と話し合いながら、地域の人に私たちの学校の楽しさが伝わるような DVD を作ろう。

2 本時のめあてをつかむ。（1分）

めあて 学習の流れを確認して、どのように DVD を作っていくか見通しをもとう。

3 学習の見通しをもつ。（10分）

- 教科書から学習の流れを捉えさせ、学習計画を作成させる。
- DVD が完成するまでの学習計画表を基に、どのような過程で学習が進んでいくのかイメージできるようにする。
- どのような内容の DVD を作っていくかの計画を、話し合いを通して立てていくことを伝える。

話し合いを通して学習を進めていくことを理解し、どのような内容にしようか積極的に考えようとしている。＜発言・ノート（3）＞

4 本時のまとめ・振り返りをする。（4分）

- 本時の学習で考えたこと、やってみたいことを振り返りシートにまとめさせる。
- 次の時間はそれぞれが何について伝えるかを定めることを伝え、意欲をもたせる。
- ☆完成するまでの時間が楽しみ。地域の人に、私たちの学校の楽しさが伝わるような内容にした。
- ☆運動会にたくさん来てほしいから運動会のことを発表したい。

V 本時の展開 (6/11)

- ねらい 友人の意見との相違を考えさせながら、発表の構成について話し合えるようにする。
- 展開 2コマ中の1つ目

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(5分) ○学習計画で本時の学習の位置を確認させる。 ○発表の構成を決めることを伝える。 ○内容を伝える相手と班の発表する目的を全体で確認することで、目的意識を再度もたせる。			
めあて 友人との意見の相違を考えながら、発表の構成を話し合って決めよう。			
2 課題を追究するために個・各班で考える。(25分) ○発表の順番となぜそのような順番にしたのか個で理由を考えさせる。 ○班になり、友人との意見の相違を「同じ」「違う」などの言葉で捉えさせ、「どうしてそうなのか」などの言葉で意見を聞き出しながら、話合いの内容を深めさせる。 ○意見をまとめやすいよう、ホワイトボードを用意し、書き込みながら整理させる。 ○うまく話合いが進められていない班には教師が助言したり、進行カードを渡したりして進行を促す。 ○話合い後、自分の考えからどのような変化があったか、ワークシートに記録させる。			
3 グループや学級で、課題を追究するための方法を共有し、焦点化を図る。(10分) ○話合いの前と後での変化とその理由を発表することで、互いの話合いのよさを伝え合い、考えに深まりをもたせる。			
友人と自分との意見の相違を考えながら、話合いで意見を伝えることができる。 <観察・ワークシート(2)>			
4 本時のまとめ・振り返りをする。(5分) ○話合いを通して「できたこと」「分かったこと」などを振り返りカードに書かせ、考えの深まりを実感させる。 ○次回は、決めたことを基に発表メモを作ることを伝え、意欲をもたせるようにする。 ☆友達の話をよく聞いて、楽しさを伝える順番を決めることができた。 ☆友達と意見が違ったけど、話し合って順番を入れ替えたら分かりやすくなった。			

V 本時の展開 (11/11)

1 ねらい 話し合いや発表の仕方によかったことをまとめる活動を通して成長を実感させるとともに、次の活動への意欲をもてるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(5分) ○今まで学習で使用してきたワークシートやノートを参考に、本単元でどのような活動をしてきたかを振り返らせる。 ○本時では、今までの学習活動を通して、できるようになったことやよかったことを伝え合う活動をすることを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて できるようになったことやよかったところを考え、もっとしてみたいことについて話し合おう。</div>			
2 単元で学んだことを確認する。(5分) ○今までの学習活動を通してできるようになったこと、よかったこと、もっとしてみたいことをそれぞれ色分けした付箋に書き出させる。 ○短い言葉でまとめさせ、一人が何枚も書いてよいことを伝える。			
3 学んだことを一般化して理解する。(20分) ○班になり、司会を中心に一人ずつ意見を発表させる。 ○司会を中心に、班のメンバーで同じような意見を枠で囲むなどしてまとめさせる。 ○教師が予想できる枠を先に模造紙に記入しておき、まとめやすくしておく。			
4 まとめた意見をクラスで共有する。(10分) ○数班に黒板で発表させ、クラスで共有する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">学習を通してできるようになったことを考え、今後の活動について考えをもつことができる。 <観察・ワークシート(3)></div>			
5 単元全体の振り返りをする。(5分) ○単元や本時の活動を通して考えたことを、振り返りカードにまとめさせる。 ☆相手の話を聞きながら自分の意見を言えるようになった。今度は、学級会でも司会をしてみたい。			

指導計画 小学校国語科 第3学年

単元名 話し合って意見をまとめよう「つたえよう、楽しい学校生活」(全11時間計画)

目標	班で話し合いながら学校の紹介DVDを作る活動を通して、次の指導事項が身に付けられるようにする。 (1) 言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して発表すること。 【知識及び技能(1)言葉の特徴や使い方に関する事項イ】 (2) 班で話し合いながら互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめること。 【思考力、判断力、表現力等 A話すこと・聞くことオ】 (3) 主体的に話し合いに参加し、思いや考えを伝え合おうとすること。 【学びに向かう力、人間性等】			
評価規準	(1) 意見や理由を述べる際に用いる言葉を知り、言葉には考えを伝える働きがあることに気付くことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)】 (2) 互いの意見の共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら話し合うことができる。 【A話すこと・聞くことオ】 (3) 進んで話し合いに参加し、思いや考えを伝え合おうとしている。 【国語への関心・意欲・態度】			
過程	時間	○ねらい □めあて	☆振り返り(意識) ◇評価項目 <方法(観点)>	
つかむ	1	○クラスで話し合う活動を通して、学校生活の楽しさを伝えるDVDを作る見通しをもてるようにする。 友達と話し合いながら、地域の人に私たちの学校の楽しさが伝わるようなDVDを作ろう。 学習の流れを確認して、どのようにDVDを作っていくか見通しをもとう。	☆完成するまでの時間が楽しみ。地域の人に、私たちの学校の楽しさが伝わるような内容にしたい。	◇話し合いを通して学習を進めていくことを理解し、どのような内容にしようか積極的に考えようとしている。 <発言・ノート(3)>
追究する	1	○伝える内容についてクラス全体で話し合わせ、担当する班を決めることができるようにする。 自分たちが伝えたい内容を話し合って決めよう。	☆運動会を見に来てほしいから運動会について発表したい。	◇自分と友達との意見の相違点を考え、自分の班について考えている。 <発言・ワークシート(2)>
	1	○話し合いをしているCDを聞く活動を通して、上手な話し合いの仕方についてまとめることができるようにする。 話し合いや司会の役割で大切なことについてまとめよう。	☆話し合いを進める司会の役割が大切だと思った。	◇話し合いの進め方について理解している。 <ノート(2)>
	1	○司会の役割を意識させ、班ごとに伝えたい内容について話し合えるようにする。 司会のやり方意識しながら、何を調べるか、だれが調べるかを話し合って決めよう。	☆司会をしながら、みんなの意見をまとめることができた。	◇話し合いの論点を捉えながら自分の意見をもち、話し合いで意見を伝えることができる。 <観察・ワークシート(2)>
	1	○友人の意見との相違を考えさせながら、班の発表の仕方や方法について話し合えるようにする。 相手の話をよく聞きながら、どのように情報を集めるか話し合って決めよう。	☆友達の話を聞いて自分の意見を言うことができた。	◇話し合いの論点を捉えながら自分の意見をもち、話し合いで意見を伝えることができる。 <観察・ワークシート(2)>
	2	○友人の意見との相違を考えさせながら、発表の構成について話し合えるようにする。 友人との意見の相違を考えながら、発表の構成を話し合って決めよう。	☆友達の話をよく聞いて、順番や原稿の内容を決めることができた。	◇友人と自分との意見の相違を考えながら、話し合いで意見を伝えることができる。 <観察・ワークシート(2)>
	2	○言葉の抑揚や表情での伝わり方について考え、相手に分かりやすい表現になっているか班で練習し、互いに助言できるようにする。 相手にとって分かりやすい発表になっているか、お互いにアドバイスし合おう。	☆聞いている人によりよく伝えるためには、声の大きさや速さなどが大切だと思った。	◇言葉の抑揚や強弱などに気を付けて、相手に伝わりやすい発表の仕方について考えている。 <観察・ノート(1)>
	1	○発表のポイントを意識させながらタブレット端末で撮影できるようにする。 声の大きさ、速さ、発表する時の目線に気を付けながら撮影しよう。	☆声の大きさや速さに気を付けて話すことができた。	◇言葉の抑揚や強弱、目線や姿勢などを意識して発表することができる。 <観察(1)>
まとめる	1	○話し合いや発表の仕方でもよかったことをまとめる活動を通して成長を実感させるとともに、次の活動への意欲をもてるようにする。 できるようになったことやよかったところを考え、もっとしてみたいことについて話し合おう。	☆相手の話を聞きながら自分の意見を言えるようになった。今度は学級会でも司会をしてみたい。	◇活動を通してできるようになったことを考え、今後の活動について考えをもつことができる。 <観察・ワークシート(3)>